

# 廃木材 クジラに転生

長岡・栃尾 協力隊員・加治さん制作



全長20メートルの巨大なクジラのアート作品が26日、長岡市巻淵2

廃木材で作ったクジラのアート作品が26日、長岡市巻淵2の国道沿いの休耕田に完成した。全長20メートルの美術品という迫力ある姿が、道行く人の目を引く。栃尾地域の地域おこし協力隊員、加治豊哉さん(24)が栃尾の名物スポットをつくりたいという思いを形にした。

加治さんは村上市出身。長岡造形大で美術工芸を学び、埼玉県で芸術作品を販売する会社に1年間勤めた

後、2019年7月に協力隊員になった。

「山の中に海の生き物がいたら面白い」とクジラを題材に選び、同9月から7カ月かけて制作した。頭から胴にかけての曲線に特に苦労したという。田畠状の木材を頭部に付け、付着するブリッジを表現するなど細部にもこだわった。

廃材は地域の工務店などから提供を受け、休耕田の利用も地主から快諾を得た。「さまざまな人とのつ

ながりを実感できた。恩返しになればうれしい」と話す。

展示は木材が朽ちるまで数年間、続ける予定。他の動物の作品も作って近くに置く考えた。「冬は雪をかぶって白鯨のように見えると思う。四季折々の作品の変化を楽しんでほしい」と笑顔で語った。